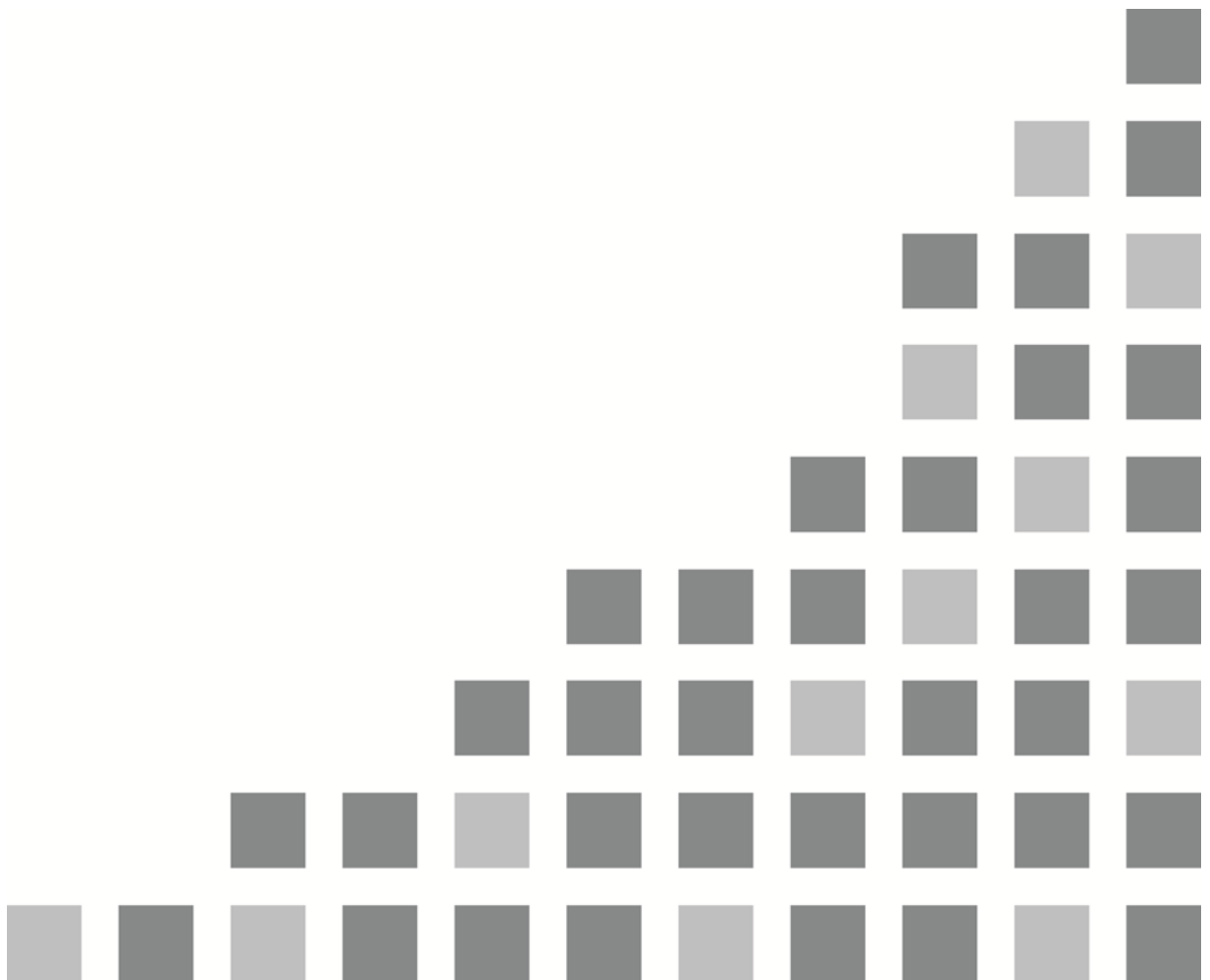

AV-HS6000 ClipConvert ソフトウェア



目次

<概要>	3
<動作環境>	3
< ClipConvert ソフトウェアの入手>	3
<ソフトウェアの使用方法>	3
1. ソフトウェアを起動する	3
2. Targa ファイルをクリップファイルに変換する.....	4
2.1. 各種設定	4
① Mode.....	4
② Frame	4
③ alpha.....	5
④ Convert from(Targa).....	5
⑤ Save to(Clp).....	5
2.2. 変換.....	6
<AV-HS6000 への転送方法>.....	7

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®] 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel[®]、Intel[®] Core[™] は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

<概要>

AV-HS6000 ClipConvert ソフトウェアは、静止画データの Targa ファイル(拡張子“.tga”)を、AV-HS6000 で動画データとして扱えるクリップファイル(拡張子“.clp”)に変換するソフトウェアです。

また、変換時に音声ファイル(WAV 形式、拡張子“.wav”)を読み込むと、音声データ付きのクリップファイルにすることができます。

本ソフトウェアを使って変換したクリップファイルを SD/SDHC メモリーカードにコピーして AV-HS6000 で読み込ませることで、AV-HS6000 のビデオメモリーに登録することができます。

<動作環境>

本ソフトウェアが正しく動作するには、下記の性能を備えたパーソナルコンピューターが必要です。

対応 OS: Windows® 7

CPU: Intel® Core™ 2 DUO 2.4 GHz 以上推奨

メモリー: 1 GB 以上推奨

< ClipConvert ソフトウェアの入手>

ClipConvert ソフトウェアは、下記のホームページの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

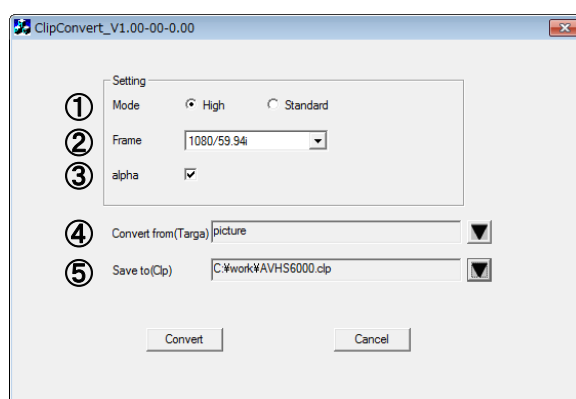
<http://panasonic.biz/sav/>

1. ClipConvert ソフトウェアの Zip ファイルをダウンロードし、パーソナルコンピューターのハードディスクにコピーします。
2. ダウンロードした Zip ファイルを解凍します。

<ソフトウェアの使用方法>

1. ソフトウェアを起動する

「ClipConvert.exe」をダブルクリックして AV-HS6000 ClipConvert を起動します。



2. Targa ファイルをクリップファイルに変換する

2.1. 各種設定

① Mode

解像度(高画質か標準)を選択します。

ビットレートは、以下のとおりです。

フレームレートが 1080/59.94p, 1080/50p のとき

High:..... 約 400 Mbps

Standard: .. 約 200 Mbps

フレームレートが上記以外るとき

High:..... 約 200 Mbps

Standard: .. 約 100 Mbps

② Frame

フレームレートを選択します。

設定したフレームレートに対して変換できる Targa ファイルの画像サイズは、以下のとおりです。

画像サイズが異なる Targa ファイルを指定して変換した場合は、エラーとなります。

また、1つの Targa ファイルを 2 フィールドに変換するか 1 フレームに変換するかは、フレームレートにより異なります。

フレームレート	画像サイズ	最大ファイル数 ^{※1} (Standard/High)	変換方法
1080/59.94i	1920×1080	1800/900	2 フィールド (even/odd 分解)
480/59.94i	720×487 ^{※2}		
1080/59.94p	1920×1080		1 フレーム
720/59.94p	1280×720		
1080/50i	1920×1080	1500/750	2 フィールド (even/odd 分解)
576/50i	720×576		
1080/50p	1920×1080		1 フレーム
720/50p	1280×720		
1080/24PsF	1920×1080	1440/720	2 フィールド (even/odd 分解)
1080/23.98PsF	1920×1080		

※1: 最大ファイル数は、連番になっている Targa ファイルを 1 回の操作で変換できる最大の数です。

ファイルの数は、「④ Convert from(Targa)」の Page 項目に表示されます。

※2: 720×480～720×487 の範囲のファイルを取り込むことができます。

NOTE

480/59.94i や 576/50i の場合、正方画素ではないため、コンピューターに表示した画像とビデオメモリーに読み込んだ画像で、縦横比が変わります。

(480/59.94i では縦長になります。576/50i では横長になります。)

忠実に映像を再現させるには元の画像を 720×540 で作成し、480/59.94i のときは、720×487 に縮小した画像を使用してください。576/50i のときは、720×576 に拡大した画像を使用してください。

③ alpha

α チャンネル付きの Targa ファイルのとき、 α チャンネルのデータを動画のキー信号として使用する場合は、チェックを付けます。

④ Convert from(Targa)

変換する Targa ファイルを指定します。

- 圧縮した Targa ファイルや、フルカラー形式でない Targa ファイルは、使用できません。

 をクリックすると、File List 画面が表示されます。

変換したい Targa ファイルをクリックして選択し、[OK]ボタンをクリックすると ClipConvert 画面に戻ります。選択した Targa ファイルが Convert from(Targa)に表示されます。

Name: Targa ファイルのファイル名を表示します。

Page: Targa ファイルのファイル数を表示します。

Size: Targa ファイルの画像サイズを表示します。

Targa ファイルが連番になっている場合は、Targa ファイルがグループ化され、数字の前の名称がファイル名として表示されます。

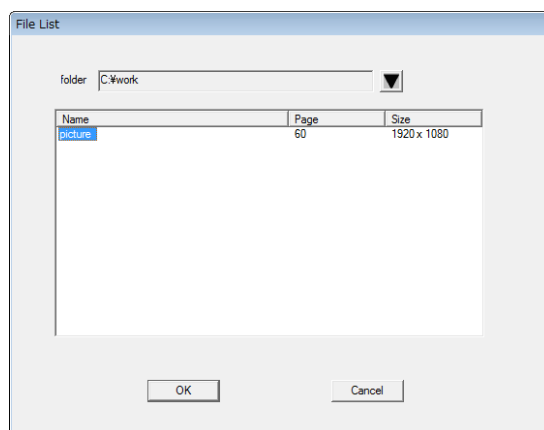
連番になっている Targa ファイルとして認識させるには、あらかじめ拡張子を除くファイル名の後に、0001 から始まる 4 桁の数字を連番で付与しておきます。

音声データ付きのクリップファイルを生成するときは、Targa ファイルを保存したフォルダーと同一のフォルダーに音声ファイル(拡張子.wav)を保存しておきます。

このとき、音声ファイルの名称(拡張子.wav を除いた部分)は、Targa ファイルの名称(連番及び拡張子.tga を除いた部分)と同一にします。Targa ファイルと名称が異なる音声ファイルは読み込まれず、クリップファイルに音声データは埋め込まれません。


例)

```
picture0001.tga
    }
picture0011.tga
picture.wav
```



⑤ Save to(Clp)

変換したクリップファイルの保存先を指定します。

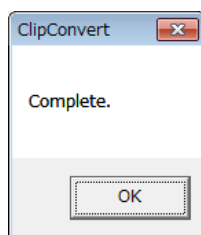
 をクリックすると、ファイル保存画面が表示されます。

保存先とファイル名を指定します。

8文字(拡張子含まず)を超えたファイル名を指定すると、AV-HS6000にクリップファイルをロードした際、省略されてファイル名が表示されます。ファイル名は、8文字以内で指定することをお勧めします。

2.2. 変換

上記①～⑤を設定した後、[Convert]ボタンをクリックすると変換を開始します。
変換が正常に完了すると、下記のメッセージ画面が表示されます。



NOTE

- ・ RLE 形式で圧縮した Targa ファイルは、使用できません。
- ・ フルカラー形式ではない Targa ファイルは、使用できません。
- ・ フレームレートが 1080/59.94p, 1080/50p のときは、偶数個の Targa ファイルを用意してください。奇数個の Targa ファイルを読み込むと、最後のフレームをコピーして偶数枚にしたクリップファイルが生成されます。

■対応している Targa ファイルのヘッダー形式

- H が付与されている数字は、16 進数表示となります。

オフセット (byte)	長さ (byte)	名称	設定内容	設定値
0	1	ID フィールド長	—	0H
1	1	カラーマップ有無	カラーマップなし	0H
2	1	画像形式	フルカラー	2H
3	2	カラーマップオリジン	制限なし	—
5	2	カラーマップレンゲス	制限なし	—
7	1	カラーマップエントリーサイズ	制限なし	—
8	2	画像の X 座標	制限なし	—
10	2	画像の Y 座標	制限なし	—
12	2	画像の横幅	画像サイズにより異なります。	—
14	2	画像の縦幅	画像サイズにより異なります。	—
16	1	色深度	24 bit	18H
			32 bit	20H
17	1	イメージディスクリプター	制限なし	—

■音声ファイルの仕様

- 次の仕様に合致する音声ファイルのみ使用できます。
 - ファイル形式: WAV 形式(拡張子.wav)
 - 記録方式: リニア PCM(非圧縮)
 - サンプリング周波数: 48 kHz
 - 量子化: 16 bit
 - チャンネル数: 2 チャンネル(ステレオ)
- 音声ファイルに含まれる音声データの長さが映像データより短いときは、後部に無音データを付加した音声データがクリップファイルに埋め込まれます。
- 音声ファイルに含まれる音声データの長さが映像データより長いときは、後部を削除した音声データがクリップファイルに埋め込まれます。

<AV-HS6000 への転送方法>

変換したクリップファイルを AV-HS6000 に転送します。

■ SD/SDHC メモリーカードを使う方法

1. 転送したいクリップファイルがコピーできる容量を持つ、SD または SDHC メモリーカード 1 枚を用意します。
※ SDXC メモリーカードには対応していません。
2. AV-HS6000 でメモリーカードの初期化を実行します。
3. AV-HS6000 で初期化を行ったメモリーカードを、パーソナルコンピューターのメモリーカードスロットに挿入します。
4. メモリーカード内に作られた「HS¥COMM¥CLIP」フォルダーに、変換したクリップファイルをコピーします。
5. クリップファイルをコピーしたメモリーカードを、再度 AV-HS6000 のメモリーカードスロットに挿入します。
6. <MEM>ボタン → [CLIP] → [Register]タブを選択して、[MEM / CLIP / Register]メニューを表示します。
7. [Current Clip]コラムの[CLIP1] ~ [CLIP4]から、転送先のチャンネルを選択します。
8. [SD]コラムの[Recall]を選択して、[Recall]画面を表示します。
9. 必要に応じて、画面表示を変更します。

[Sort]	ファイルアイコン表示を、ファイル番号、ファイル名、日付の昇順または降順でソートします。
[View]	表示モードを選択します。 [CLIP]の場合、Icon のみです。
[Page]	ページを切り替えます。
[File Type]	表示する拡張子を選択します。[CLIP]の場合、clip のみです。
[Cancel]	[Recall]画面を閉じます。

10. ファイルアイコンの中から選択して[OK]を選択すると、該当チャンネルに動画データが読み込まれます。

■ コンピューターと AV-HS6000 を LAN で接続して転送する方法

接続について、詳しくは「取扱いガイド(施工説明書付き)」の「第 2 章 設置と接続(設置業者様向け) / 接続(設置業者様向け) / コンピューターの接続」を参照してください。

1. コンピューターをメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の<LAN>端子に接続します。
2. コンピューターの Web ブラウザーを起動し、AV-HS60U1/AV-HS60U2 と通信を開始して、メニュー画面を表示します。
3. <MEM>ボタン → [CLIP] → [Register]タブを選択して、[MEM / CLIP / Register]メニューを表示します。
4. [Current Clip]コラムの[CLIP1] ~ [CLIP4]から、転送先のチャンネルを選択します。
5. [Local]コラムの[Recall]を選択すると、コンピューター上のファイル操作画面が開き、読み込み操作ができます。
- [SD]コラムの操作はできません。

NOTE

- [CLIP1] ~ [CLIP4]に登録したクリップファイルの利用方法や再生方法については、「取扱いガイド(施工説明書付き)」の「接続(設置業者様向け) / 第 5 章 基本操作 / ビデオメモリー / 動画(Clip)の再生」を参照してください。
- [CLIP1] ~ [CLIP4]に登録したクリップファイルは、AV-HS6000 の電源を切るとビデオメモリーから消去されます。